



7_ 工事中の千葉家 8_ 9_ 建材は、解体前に番号をふり、後で復元できるように記録。現地の保存小屋に保管します 10_ 旧綾織小体育館には、千葉家の家財道具などが一時保管され、整理・修繕作業が行なわれています



1・2_ 主屋の馬屋部分。茅葺屋根のカヤが取り除かれ、堂々たる骨組みが姿を現しました 3_ ハセ小屋の礎石の据え付けの様子があらわになり曳家(ひきや)の事実が判明しました 4_ 豪華な客便所と家族便所が合体した独特なつくりの便所 5_ 主屋内部の解体も進んでおり、床板などが取り外されています 6_ 土壁の骨組み



千葉家の全貌が、明らかに。

Information

遠野文化研究センターの講座情報

古文書講座

「はじめての古文書」

古文書に使われる書体「くずし字」の基礎を学ぶ講座です。今回は、くずし字辞典の使い方などを学びます。

- 日時(全3回) 11月15・22・29日、いずれも(水)、18時半～20時
- 場所 図書館視聴覚ホール
- 講師 市史編さん調査研究員 菊池秀男氏
- 定員 20人
- 申し込み・問い合わせ 市史編さん室(☎60-2800)

地域講座

「松崎町の地名と歴史」

松崎町の地名の謎に迫りながら、地域の歴史を楽しく紐解きます。

- 日時
「地名と屋号に秘められた松崎の歴史」
11月18日(土)、10時～11時半
「謎の小平村 ～知られざる地名と歴史～」
12月15日(金)、18時半～20時
- 場所 松崎地区センター会議室
- 申込方法 各回の前日までに電話で申し込み
- 問い合わせ 市調査研究課(☎60-2800)

み立て、元の姿に再現。現在は解体作業が本格的に進められ、基礎や骨組みなど、今まで見ることができなかった場所があらわになっています。

新事実発見!
現場見学会を初開催

解体・発掘が進むにつれ、新たに発見されたことがあります。ハセ小屋では、以前は別の建物が建っていたことや、今の建物も、建築後に場所をずらす、曳家をしていたことが明らかに。主屋では、突き出した馬屋が昔はもっと短かったことなどが確認されました。

工事中のため普段は非公開ですが、9月30日・10月1日には、修理現場の一般見学会を初開催。市内外から150人が参加し、修理の様子をその目で確かめました。見学会では、ハセ小屋、便所、主屋、大工小屋などを公開。設計監理を担う(公財)文化財建造物保存技術協会の担当者らが、修理工事の概要と現時点の調査結果を解説しました。

今後は、さらに建物の解体作業を進め、石垣部分の解体などにも着手。来年も工事見学会を開催する予定です。一体、次はどんな大発見が待っているのでしょうか。

江戸時代、飢饉に苦しむ人々の救済のため、10年の歳月を費やして建てられたと伝わる豪農・千葉家の屋敷。時とともに老朽化が進み、根本的な修理の必要性が高まっていました。そこで市は、「平成の大修理」と銘打ち、再び10年をかけて甦らせる、一大プロジェクトに取り組んでいます。

修理工事は平成28年6月から同36年3月までの計画。建物などは調査しながら丁寧に解体し、傷んでいる箇所を修復します。その後、できる限り元の材料と技法を用いて組

修理工事2年目は解体作業を本格化

約10年かけて整備事業を進めている、綾織町の国指定重要文化財・千葉家住宅。「平成の大修理」により、知られざる千葉家住宅の様子が明らかになりました。

ただ今、世紀の大修理中! 千葉家

